

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 7 年度第 1 回</p> <p style="text-align: center;">富士見市図書館協議会</p> <p style="text-align: center;">議事録</p>						
日 時	令和 7 年 6 月 2 0 日（金）		開会	午前 1 0 時 0 0 分		
			閉会	午前 1 1 時 2 0 分		
場 所	中央図書館 視聴覚ホール					
出 席 者	委 員	木下委員長	野澤委員	西村委員	黒澤委員	今井委員
		○	○	○	○	○
		神馬委員	内海委員	藤巻委員	戸田委員	向井委員
		○	○	○	○	○
	事務局	○教育委員会生涯学習課 岡課長 隈本副課長 西澤主査 田中主任 ○図書館 長谷川中央図書館長 宮崎中央図書館副館長 大里鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長				
公 開 ・ 非 公 開	公開（傍聴者 1 名）					
次 第	図書館協議会 （１）開会 （２）図書館協議会概要説明 （３）自己紹介 （４）委員長・職務代理選出 （５）各館事業報告（令和 6 年度 2 月～令和 7 年度 4 月活動報告） 中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館 （６）その他（次回開催日について） （７）閉会					
配 布 資 料	・富士見市図書館協議会 令和 7 年度 6 月定例会次第 ・2 0 2 5 年 2 月から 2 0 2 5 年 4 月活動報告（中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館） ・さざなみだより 2 0 2 5 年 4 月号・5 月号・6 月号 ・とびらしんぶん 2 0 2 5 ねん 4 がつ・6 がつ ・BOOK ADVENTURES 第 2 5 3 号 ・BOOK ADVENTURES Summer 2 0 2 5 ・つるせにしんぶん 2 0 2 5 年 4 月号・5 月号・6 月号 ・ぶんちゃんしんぶん 2 0 2 5 年 4 月号・5 月号・6 月号					

	<ul style="list-style-type: none"> ・ほんのくにたんけん 1・2年生むけ、3・4年生むけ、5・6年生むけ ・さわらび第57号
議 事 内 容	
図書館長	図書館協議会会議
生涯学習課	<p>(1) 開会</p> <p>(2) 図書館協議会概要説明 図書館協議会は、図書館法及び富士見市図書館条例に基づき、設置されている。 役割は、館長の諮問に応じることや、図書館の運営や図書館サービスについて館長に意見を述べる機関である。また市民の意見や地域の実態などが行政に反映するように活動し、市民と教育行政をつなぐための役割を担う機関である。</p>
各委員 図書館職員 生涯学習課	<p>(3) 自己紹介 委員 自己紹介 図書館職員 自己紹介 生涯学習課職員 自己紹介</p>
図書館長	<p>(4) 委員長・職務代理選出 委員長 木下委員 職務代理 野澤委員 出席委員の自己紹介</p>
図書館	<p>(5) 各館事業報告（令和6年度2月～令和7年度4月活動報告） 【中央図書館】 ・資料に基づき報告</p> <p>第一・第三水曜日、第一・第四土曜日その他諏訪児童館へスタッフが2名出張しておはなし会を実施している。 映画会は子ども向け、大人向けの作品を月に各2回実施した。 団体貸出 2月11施設155冊、3月14施設175冊、4月16施設333冊の利用あり。 障がい者サービスでは、音訳者の方々の協力を得て対面朗読を行っている。 中央図書館では、県内でも珍しいZOOMでの対面朗読を行っており、また宅配サービスによりご自宅まで本を届け、来館が困難な方へのサービスを実施している。</p>

<p>図書館</p>	<p>外部連携としては、ブックスタート、乳児の健診に合わせて図書館スタッフが出向き、１歳の本の読み聞かせと本のプレゼントを行っている。</p> <p>図書館は０歳から利用者カード登録ができるので、図書館に触れてもらう一歩として宣伝をしている。</p> <p>キラリ財団との連携事業は、毎月６０名ほどが集まる人気のコンサートとなっている。</p> <p>館内展示は、スタッフが本のテーマに合わせてコーナーを作っている。季節のものや話題のものを利用者に楽しんでもらえるように工夫している。市役所の依頼で連携展示をすることもあり食育、世界禁煙デーなどの展示も行っている。</p> <p>自主事業報告としては、</p> <p>「おはなし講座」、３回連続講座「ストーリーテリングを学ぼう」の３回目が２月に行われた。ストーリーテリングの参加者の発表などもあった。</p> <p>３月のぬいぐるみおとまりかいでは、毎日子どもたちと一緒にいるぬいぐるみを図書館で預かり、ぬいぐるみたちがおはなし会などを行っているお泊まりの様子を写真にとってアルバムを渡している。子どもたちの想像力を養い図書館に親しみをいだいてもらうものになっている。</p> <p>４月「としょかんたんけんツアー」は、普段は見られない書庫を見たり、貴重図書を見たりクイズなどを行った。</p> <p>キラリ財団との連携事業の中で、キラリふじみの公演関連展示として、公演に先駆けて展示支援を行い、演目を楽しんでもらっている。図書館の展示ホールで行うミニコンサートは２月、３月、４月と毎回盛況で楽しんでもらっている様子が写真からもうかがえる。</p> <p>【鶴瀬西分館】</p> <p>・資料に基づき報告</p> <p>２月、３月おはなしかい、乳幼児・小学生向けを第二水曜日、第三日曜日ともに行っている。</p> <p>４月より第二水曜日の午後のおはなしかいは、つるせ台放課後児童クラブ向けとして独立させた。日程については、基本水曜日でつるせ台放課後児童クラブと調整しながら行っていく。</p> <p>映画会実施。偶数月は子ども向け、奇数月は一般向けに行っている。</p> <p>団体貸出は、２月７施設２３４冊。３月７施設１６３冊。４月７施設２００冊となっている。２月は、K i d ‘ s G a r d e n きらり保育園にも初めてご来館いただいております、貸出している。</p>
------------	---

学校連携は、毎週金曜日につるせ台小学校のひまわり学級（支援学級）の児童が鶴瀬西分館に来館して、読み聞かせ&ブックトークを行っている。つるせ台小学校と鶴瀬西分館は校内通路を使うと外を通らず来館できる構造であるが、小学校を卒業してからも図書館という公共施設を利用する練習にもなるため、あえて靴を履き替え通常の図書館入口から来館されている。放課後や日曜日などの私的利用にもつながっている。

YAサポーター交流会は、つるせ台小学校の図書委員の児童たちとの関わりから始まり、富士見台中学校の進学にあわせて育っていたものである。コロナ禍では活動できずとん挫したが、現在継続的に活動しており、初代のサポーターが大学生になり、春休みの図書館活動に参加されている。

2月、つるせ台小学校の1年生向けにブックトークを行っている。

「すたんぷかーど」は、学校図書室の閉室に合せて、冬・春・夏と行っており、図書館の利用を促すものである。表彰状を校長先生と連名で出させていただいている。

4月30日、つるせ台小学校の5年生来館。国語の「本は友達 図書館を使いこなそう」の単元利用。著作権についての説明の希望があり、本を使って合わせてご提供した。各学年のご要望にあわせてご案内している。

セカンドブック事業では、新1年生の図書館利用カードの発行（つるせ台小学校、鶴瀬小学校）を行った。

地域連携としては、保育所の団体利用、来館及び貸出等がある。その他ブックリストやイベントポスターなどの配布を行っている。また市内掲示板を使用して、映画会などのイベント周知も行っている。

対面朗読2月、3月と2コマずつ実施。

鶴瀬西分館の展示については、1ヶ月だと回転が速く、十分に借りられないものもあるので、隔月などで行っているものもある。一般展示、YA展示、子育て展示などである。

児童展示、ミニ展示 家読コーナーは、1ヶ月で展示交換を行っており、「家読コーナー」については、大人と子どもが同じテーマで本を選んで本についての話が出来たりすることを推奨してコーナーを作っている。

「〇月のおすすめ本」は、その月の作家の生誕や出来事にあわせて本を展示している。

「24日は西の日」では、鶴瀬西分館を少しでも覚えてほしいと、今までもいろいろ行ってきたが、今年度はこの日に本の紹介を行っていく。

中央図書館、ふじみ野分館も実施している常設展示「がん情報コーナー」は、交流ホールに設置して紹介しており、ブックリストの提供をしながら展示を行っている。

常設展示「りんごの棚」は、バリアフリー図書に特化した展示となっている。

3月、「追悼 曾野綾子」の展示を行った。手に取られていた利用者は、幅広い世代の利用があった。

4月、5月、一般展示「生きるとは」というテーマで実施。そういったジャンルの棚がないので、テーマが良いと利用者から意見があった。

4月から全館でセルビア関連展示を行っていく。

「書評展示」は、今までも行っていたが、皆さんの興味もある棚となっており、今年度から正式に展示を行っていく。

自主事業では、

2月「ぼくらのまちづくりワークショップ」では、図書館であり皆さんと一緒にみることのない地図を見ながら自分たちのまちについて考えてみた。絵本から展開し、画用紙1枚に作ってみた。どういものが富士見市にあるのか、またどういものが富士見市にあったら良いのか、そして自分の理想のまちを皆で繋げてみたら……。アンケートでは、「自分の地域を一生懸命作ったが、自分だけが良くてもさみしいのだなと思った」という意見があった。個人で作ってみんなで繋げたというのが驚きもあって楽しい講座となった。また大人も子どもも参加していただくことができて良かった。

「24日は西の日」。鶴瀬西分館の日を特徴づける何かをしたい。と言うことで、この日にスタッフおすすめ本の展示を行っている。貸出があれば次の本を置いている。

2月、学校連携報告では、児童の来館の様子がある。2月の1年生向けブックトークは、つるせ台小学校で行った様子が載っている。

1年生のブックトーク「冬をたのしもう」は、2回実施の2回目2月にあった。鶴瀬西分館では、冬に郷土玩具である扇だこ（キッズ扇だこ）の作成及び凧あげをつるせ台小学校の校庭でしており、風をつかまえて遊ぶ遊びの紹介としても提供できた。

「追悼 曾野綾子」展示では、カウンター前にスペースを作った。お若い方から幅広い世代の利用があった。

3月「スペシャルおはなしかい・いちぶえいご」は、ボランティアの力も借りながら行っており、現在リピーターの参加がある。小学校での授業もあり、英単語をたくさん教えてくれ、恥ずかしがりながらもコミュニケーションをとってくれていた。今後も楽しく本に、図書館に、英語に親しんでもらえるよう工夫していきたい。

「としょかんボードゲームクラブ」では、実施1週間前に新旧YAサポーターの顔合わせと練習を兼ねて集まり、本番に備えた。初代YAサポーターの参加もあった。ゲームは、小さい子から大人まで楽しめるものを用意した。また実施当日は、飛び入りの親子参加などもあり対応に追われたが、YAサポーターの練習の成果が表れスムーズに対応できた。

3月学校連携報告書では、YAサポーターの活動の様子も載せているので、ご覧ください。

4月から富士見市立図書館全館でセルビア関連展示を行っている。タイトルも新しくなっているので、ご来館の際は、ご覧ください。

「書評コーナー」は、いままでもあったが、貸出の定着もしてきたので、展示コーナーとして定期的に入れ替えをしながら今後行っていく。

4月、「追悼 曾野綾子」は、前月の反響と紹介できる本があったので、引き続き違う資料をご案内した。

「君たちはどの本をよめるか（春）」ガチャを使って今日の本をきめてしまうというもの。ルールはカウンターに「ガチャをやりたいです」と言ってもらう。子どもたちがスタッフに話しかけることも目的としている。

「ぼくの、わたしの好きな本」は、4月の子ども読書の日、読書週間に合わせて、好きな本を記載して頂き、新刊展示の上の壁面飾りの桜の木に掲示する。一般の方へも季節感の演出と新刊コーナーへ目を向けてもらえた催しとなった。

「こいのぼりを折ってみよう！」では、来館してくださった方に折り紙のこいのぼりを折ってもらい館内掲示するというもの。1つは

図書館	<p>飾ってもらう企画だったが、全て持ち帰る子もいた。やや数が少ないが館内が華やかになった。</p> <p>4月の学校連携では、5年生が国語「本は友達 図書館を使いこなそう」で授業利用あり。教科書の中に著作権についての項目があり、本を使いながら説明した。</p> <p>初代YAサポーター作成の西ちゃんキャラクターのデザインが追加されたので今後飾らせていただく予定である。</p> <p>【ふじみ野分館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき報告 <p>おはなし会は、ふじみ野交流センタープレイルームで乳幼児向け月1回、ふじみ野児童館出張乳幼児向け月2回、慶櫻ふじみ保育園4～5歳、0～1歳、2～3歳向け各1回、ふじみ野保育園1～2歳向け月1回行っている。2月3月4月の実施日程と人数は表のとおりである。</p> <p>ぶんちゃんひろばは、対象が幼児・小学生である。図書館は、文系のイメージがあるが、文系のみならず理系、工作、読書を楽しみたい子にアニメーションなど、様々なことを体験する場とし、絵本の読み聞かせと本の紹介を含めて毎月内容を変えて行っている。</p> <p>映画会は幼児小学生向けに毎月行っている。一般向けを昨年度までは年2回だったが、今年度から年3回行う予定である。</p> <p>団体貸出は表のとおりである。</p> <p>自主事業として、</p> <p>2月、毎年恒例の絵本にでてくるお菓子作りと、エアロボックス。</p> <p>3月、ふじみ野交流センター主催のふじみ野文化祭にて、ビブリオバトル、ワークショップ、図書館ホームページの使い方・電子図書館の体験ブースを行った。</p> <p>4月、エアロボックスは、勝瀬原記念公園で開催予定だったが雨で中止となった。</p> <p>外部連携として、ふじみ野保育園、慶櫻ふじみ保育園全世帯に「ぶんちゃんしんぶん」を配布している。</p> <p>勝瀬中学校とはボランティア連携をしている。</p> <p>ふじみ野交流センターとの連携ではふじみ野じゅくの毎月のテーマに合わせて応援図書を館内に展示し、ふじみ野じゅく当日は資料を会場に展示し、併せてリストを配布している。</p>
-----	---

テーマ展示は、毎月一般、文学、YA、児童、子育てLibraryを設置している。

ミニ展示は、その月のホットなものなどをテーマにしたものと、ふじみ野じゅく応援コーナーを設置している。

また、5日と20日にはスタッフおすすめとして、スタッフの推し本を文章で書き、一棚で展開している。

紙芝居も行事にあわせて展示している。

4月よりYAの本棚を新設した。中高生向けに進学、新書を集めている。

館内企画として、季節にあった折り紙を折って廊下に飾る。こちらでも鶴瀬西分館同様、子どもがスタッフへの声かけのきっかけとなっている。

ぶんちゃんひろばの報告。

2月「冬の実験教室」。勝瀬中学校科学部とのコラボレーションで行った。小さい子も実際に実験をした。科学部も早くから準備をしてくれている。1家族に1部員がついてくださり、参加者の保護者から温かい言葉をもらっている。今年度も年3回を予定している。

3月はアニメーション。ゲームを交えて本を深く読んでいこうというものである。今回は絵本「ひとまねこざる」で行った。

4月「ブーメランをとばそう」。ブーメランはなぜ戻ってくるのかを考えてみる。実際に作って、飛ばし方も工夫をしながらやってみた。関連資料も多く貸し出された。

自主事業の報告。

2月、絵本にでてくるお菓子作り。今回は絵本「バムとケロ」のシリーズでドーナツ作りを行った。安全性も考え、揚げずに焼きドーナツを作った。

絵本の読み聞かせを行い、絵本の伏線やキャラクターの紹介も行った。1つの本を深く読み込めてよかったと感想をいただいた。

エアロブックスは、心と体の健康を育み、親子のスキンシップも行う。講師は絵本専門士と、フィットネスインストラクターに頼んでいる。

3月、勝瀬ふじみ野地域が集うふじみ野文化祭にて図書館では3つのイベントで参加した。

1つ目のビブリオバトルは、地域で年齢性別関係なく読書推進ができれば、という思いで行った。勝瀬中学校、富士見高校、ふじみ野交流センターと一般からでいただいたバトラーの皆さんに協力いただいた。バトラーに推し本を熱く語ってもらい、会場の皆さんに「どの本が一番読みたくなったか」の基準で投票してもらう。一番得票

	<p>数が多かった本をその時のチャンプ本にするというものである。今後も続けていきたい。</p> <p>2つ目は、図書館ホームページよろず相談&電子図書館お試し会と題して、図書館のホームページや電子図書館を実際に体験していただくものだった。電子図書館の周知が出来ていないので文化祭で行ったが、対象とした30～40歳代の方が少なく残念であった。若い層への周知を行っていきたい。</p> <p>3つ目のワークショップは絵本「くれよんのくろくん」を使い、はじき絵を行った。クレヨンで書いた上を水彩画で塗っていくもの。ふじみ野分館の廊下に展示している。</p> <p>慶櫻ふじみ保育園では、年長さんに対してアニメーションを行った。絵本を読んでゲームをしながら内容をとらえる。また皆の前で発表する場もある。園から発表できる力も養いたいとのことだったので、良い場となったのではないかと思います。</p>
委員	<p>ふじみ野分館は、交流センターや公園が近くにあり、鶴瀬西分館はつるせ台小学校が近くにあり、子どもと交流し、子どもたちに配慮しながら事業をすすめてくれているのでとても良い。</p> <p>中央図書館の音訳はボランティアではなく、富士見市立図書館所属の音訳者として、図書館で仕事をさせていただいている。</p>
委員長	<p>鶴瀬西分館の事業について、5年生の「本は友達 図書館を使いこなそう」で著作権について行ったとのことだが、どのような経過で行い、どのような内容だったのか。人工知能AIの発達の中、ユーチューブなど多くのSNSの中で、高学年の思春期の子どもたちが、著作権について学ぶことはとても良いと思った。</p>
図書館	<p>教科書の中に書いてあるものに添って行い、またデジタル時代の著作権を書いた本がシリーズで何冊か有り、その本を中心に5年生にお話をした。著作権とはどういうものか、使い方についてなど。</p>
委員長	<p>タイムリーな企画だと思った。</p>
委員	<p>エアロブックスは、どのようにするのか。</p>
図書館	<p>絵本のパートとエアロビクスのパートがあり、絵本を5～6冊読み、その後体を動かす。</p>
委員	<p>「君たちはどの本をよめるか」のガチャ企画について。書名・請求記号のほかにISBNを示してあるのはなぜか？自分たちで本を探すのはとても良い。</p>

図書館	I S B Nは、それだけで本にたどりつけるものであること、請求記号は、内容や棚の位置を知るためにも使うものである。分類は、学校司書とも話した際に、覚えられれば便利だがなかなか小学生にとっては、分かりづらいものであるとの感想があり、I S B Nは、この場合こだわりでもある。
図書館	書誌データの、タイトル、作者、出版社、出版年やページ数の記録は、論文や図書館を使った調べる学習コンクールを行う上でも必要である。
図書館	先ほどの著作権のところでも、出典の書き方についてはご案内をさせていただいた。
委員	学校での利用については、レベルアップをしながら使ってもらいたいという仕組みになっている。今後も図書館レベルを引き上げてもらいたい。
委員長	協議会メンバーは、年4回の協議会だが、図書館の専門用語を含め、図書館や本に関わることを委員の皆さんで今後深めていただく機会になると良い。
委員	本を使ったら、奥付を見て、タイトル、著者、出版社、出版年を記載することは教科書にも書いてあるし、学校でもやっていると思うが、子どもたちのことを考えて、すごく大事なことを伝えてくれているので、たまには学校教育課の指導主事の話の聞ければ良い。こんなにやってくれていることを指導主事の先生方に知ってもらいたい。この協議会への学校教育課からの出席をぜひお願いしたい。
図書館	もともと協議会は、土曜日だったが、金曜日の開催に変わったのは、学校教育課が出席できるようにしたので、引き続き働きかけていきたい。
図書館	新1年生に図書館利用カードの作成と本のプレゼントを行っている。他の自治体ではなかなかない取り組みである。 電子図書館は、5月から小学校の利用がはじまっている。学校連携の取り組みの一つである。全児童にI Dを振っている。11校中3校が使ってくれている。
図書館	著作権については、何の文献を使ったのかを書き残しておくのは、自分の文章を書くのには、大事である。 また富士見市では、小・中学校すべての子が、図書館利用カードを持っているが、全ての子が利用できていないので、利用を促進していきたい。

委員長	<p>皆さんそれぞれ校長会など学校関係も含め関係部署の方が協議会にはいらしているので、協議会の中から一歩でも取り組みをすすめられたらと思う。</p> <p>(6) その他 次回開催日について 次回は9月26日(金)午前10時から中央図書館レセプションルーム(1階)にて。協議会は年4回開催予定である。</p> <p>(7) 閉会</p>
-----	---